

荒尾市民病院からのお知らせ

一市民を愛する
市民に愛される病院へ

病院事業管理者が
決まりました

4月1日に経営形態が地方公営企業法の全部適用に変わりました。病院トップに「事業管理者」を設置し、管理者が経営に必要な「人、金、物」に関する全ての権限を掌握と同時に経営責任を負います。メリットとして①経営責任が明確になる②機動性、迅速性の発揮③自律性の拡大④職員の経営意識の向上⑤業績に応じた給与体系の導入などが挙げられます。

今回、現在の院長である大嶋壽海先生が就任しました。

就任した大嶋管理者からのあいさつ



4月1日付で荒尾市民病院事業管理者に就任した大嶋です。私は、平成元年3月に荒尾市民病院に赴任し、以来20年になります。また平成

15年からは病院長として職務を遂行してきました。浅学非才ではありますが、長きにわたる地域医療に挺身した経験を生かし、職員と手を携え、地域住民へ満足度の高い医療が提供できる病院づくりに鋭意努力していきます。よろしくお願ひします。

外来診療担当医表(平成21年4月1日～)

| 診療科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------------|------------------|---|---------------------------|-------------------------------|--|
| 呼吸器内科 | 熊大病院(非) | 国立大牟田病院(非) | 高城暁(非) | | 熊大病院(非) |
| 血液内科 | 眞田 功 | | 眞田 功 | 眞田 功 | |
| 腎臓内科 | | 毛利 友彦 | 水本 輝彦 | | 井上秀樹(非) |
| 消化器内科 | | | | 中村 綾子 | |
| 循環器内科 | 梶原 一郎 | 松川 将三 | 鶴田 敬一郎 | 梶原 一郎 | 松川 将三 |
| 代謝・内分泌内科 | 田口 哲也 小野 薫 | 田口 哲也 | 田口 哲也 | 田口 哲也 小野 薫 | 小野 薫 |
| 放射線科 | 初診 | 宮寄 俊幸 | | | 宮寄 俊幸 |
| | 再来 | 宮寄 俊幸 | 宮寄 俊幸 | 宮寄 俊幸 | 宮寄 俊幸 |
| 小児科 | 熊大病院(非) | | 熊大病院(非) | 専門外来(熊大) (第2・4週) 神経遺伝代謝(非) | 熊大病院(非) |
| 外科 | 大嶋壽海 | 大嶋 壽海 勝守 高士 前田 勇一 | 大嶋 壽海 濱口 裕光 | 水流添 周 濱口 裕光 | 勝守 高士 山本 真一 |
| 整形外科 | 松元 健一郎 二山 勝也 | <第2・4・5週> 松元 健一郎 <第1・3週> 二山 勝也 | (新患者のみ) (午前中) | 前田 勇一 松元 健一郎 | 前田 勇一 二山 勝也 |
| 形成外科 | 午後 | 島田 茂孝(午後) | 島田茂孝(午後) | | 島田茂孝(午後) |
| 産婦人科 | 婦人科 | 柴田 三郎 | 松井 幹夫 | 柴田 三郎 | 松井 幹夫 第3週:徳永達也(非) |
| | 産科 | 松井 幹夫 | 柴田 三郎 | 松井 幹夫 | 柴田 三郎 |
| 眼科 | | | 熊大病院(非) | | |
| 泌尿器 | 浅山 縁 榊田 裕士 | 榊田 裕士 浅山 縁 | | 浅山 縁 榊田 裕士 | 榊田 裕士 浅山 縁 |
| 皮膚科 | | | 熊大病院(非) | | |
| 麻酔科 | | 松村 健 | | | 松村 健 |
| 脳神経センター | 不破 功 吉永 豊 | 前原 史明 | 不破 功 (新患者のみ) | 不破 功 吉永 豊 | 不破 功 <神経内科> 山中信和(午後)(非) |
| 消化器病センター | 中村 綾子 | 水流添 周 | 山本 真一 | 塚本 千佳 | 濱口裕光 |
| 内視鏡検査 透視検査 | 濱口裕光 中村綾子(午後) | 中村 綾子 山本 真一 塚本 千佳 | 中村 綾子 白石良介(非) 水流添 周 | 大嶋 壽海 本多敬和(非) 中村綾子(午後) | 大嶋壽海 中村 綾子 下田 良(非) 塚本千佳(午後) 山本真一(午後) |
| 禁煙外来 | | | 鶴田敬一郎(午後) | | |
| 緩和ケア外来 | | | | | 濱口裕光(午後) |
| 人間ドック(内科診察) | 鶴田敬一郎 | 鶴田敬一郎 | 前原 史明 | 鶴田敬一郎 | 鶴田敬一郎 |
| 脳ドック診察 | | | 前原 史明 | | 前原 史明 |

新任医師紹介

3月で5人の先生が退任され、4月から新しい先生が8人来られました。

- 松園幸雅先生 救急科
- 島田茂孝先生 形成外科
- 塚本千佳先生 外科
- 吉永豊先生 脳神経外科
- 金山俊海先生 麻酔科
- 松川将三先生 循環器内科
- 水本輝彦先生 腎臓内科
- 小野薫先生 代謝・内分泌内科
- 江口剛人先生 研修医

それぞれの先生の紹介は随時掲載します。

3月11日(水)に有明地域新型インフルエンザ初動対応訓練が行われ、大嶋院長、看護師らが参加しました。

エアテント内での診察風景



※午後診療のみ()で記述しています。呼吸器内科(火曜)の診療は5月からとなります。

松園先生による救急医療の現状についての講演



救急医療指導医 松園先生

救急科

救急科開設のお知らせと
利用について

荒尾市民病院では、4月から新たに「救急科」を開設し次の通り救急医療機能の強化を図りました。今後は、熊本県城北地域における「新型救命救急センター」の指定を目指し、荒尾市医師会の協力の下、この地域の1.5～2.5次救急体制〔参考〕を、当院を中心に整えていきたいと考えています。

- ◎ 救急医療指導医の採用
- ◎ 救急部門専用のCT機器の新規配備

◆救急の受け入れ体制は…

平日の日中、夜間は上記救急専門医を中心に当直1人体制、土・日曜、祝日は内科系、外科系の各1人の当直2人体制を整えています。



救急部門専用のCT

◆実際の救急診療は…

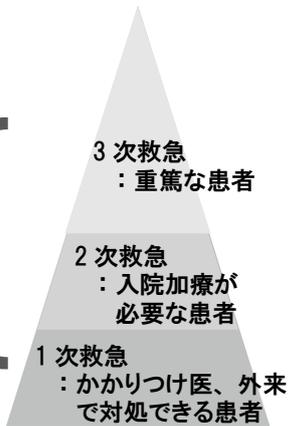
患者様の診察は、まず当直医師が診察を行います。この診察の結果、緊急性が認められる場合や、専門科の医師の治療が直ちに必要の場合は、専門科の医師を呼び出すことにしています。このため、救急で来院されても最初から専門科の医師が診察を行うわけではありません。多くの場合は、応急的な処置や検査などを行い、後日、専門科での診察をお勧めすることになります。

◆昼間の受診をお願いします

かかりつけ医を持って日ごろから自身の健康管理を行い、できるだけ病院や診療所が開いている日中の時間帯に受診するよう心がけるなど、荒尾市民病院救急科の適切な利用についてご協力とご理解をお願いします。

[参考]

荒尾市民病院が担う領域



緩和ケア外来開設

荒尾市民病院では、平成7年に、熊本県内のほかの病院に先駆けて緩和ケアチームを発足させ、一般病棟での緩和ケアの充実に取り組んでいますが、4月から新たに「緩和ケア外来」を開設します。

以前は、緩和ケアは「ターミナル・ケア」といわれ、がんの終末期のケアと考えられていました。しかし、WHO（世界保健機構）では、緩和ケアは、がんと診断がついた早い時期から提供するものであると定義しており、がんの痛みをはじめとした、身体的・精神的・社会的問題に対処するため、がん治療と平行して行うものです。この地域の、がん患者様・家族の皆様のさまざまな問題の解決をし、安心してがん闘病生活を送れるようサポートします。お気軽に当院の「相談支援センター」にご相談ください。（内線 536）

外科・緩和ケアチーム 濱口 裕光

循環器科から講習会のお知らせ（無料）

荒尾市民病院の循環器科では一般の人々を対象として心臓病、高血圧などの知識を深めてもらう目的で、毎月第4金曜に勉強会を開催する事となりました。毎回、医師、理学療法士、看護師、薬剤師、栄養士が交代で心臓病、高血圧に関する知識や治療法、運動療法の意味や栄養管理など包括的な講義を行います。肩の凝らない内容にしたいと考えますので、心臓病や高血圧にかかっている患者様やご家族だけでなく、メタボリック症候群や生活習慣病、運動療法、健康に興味のある人ならどなたでも参加できます。

- 第1回目日時 4月24日（金）、午後3時～4時
- 場所 健康管理センター内栄養指導室
- テーマ 「狭心症・心筋梗塞について」「心臓病と上手につき合う方法」（内線 320）

【問】市民病院 ☎ 63-1115